



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)大阪市淀川区加島3丁目物流施設計画	
建設地	淀川区加島3丁目	
建築用途	倉庫業を営む倉庫	
建築主		
設計者		
敷地面積	94,301.67 m ²	
建築面積	36,192.49 m ²	
延床面積	210,188.83 m ²	
構造/階数	S造 / 地上6階	
完了年(予定)	2027年 9月	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

S
BEE=4.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 4.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 4.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 4.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.9

3 設計上の配慮事項		
総合 複数テナントが入居する大型物流施設として、高天井、各階パース等の汎用性と機能効率性を確保し、免震構造、冠水対策、発電機設置等のBCP対策を行い、ラウンジ、売店等利用者の快適性にも配慮した施設とする。		その他 東側道路境界を自主後退し、道路北方の信号が赤の際は当該範囲で待機して渋滞防止と安全性確保。近隣用カーブミラーの敷地内新設・存置で近隣の安全性確保。南東側道路内の既存電柱の敷地内移設で道路の通行性改善。
Q1 室内環境 用途が倉庫のため、評価対象外とする。	Q2 サービス性能 階高大、床積載荷重大により拡張性に配慮。倉庫内装仕上無しにより内装仕上材の更新間隔を長期化。ダクト、給排水配管の高耐久性材料採用により更新間隔を長期化。免震構造、冠水対策、発電機設置等によりBCPに配慮。	Q3 室外環境(敷地内) 緑化は外来種排除、自生種、神崎川デルタ一部復元。ベンチ、植物名板、音声説明により自然に親しめるよう工夫。建物後退と緑地配置により東側住宅への圧迫感軽減と環境確保。緑地や空地により敷地内温熱環境に配慮。
LR1 エネルギー 高効率の照明、空調機を採用。中央監視装置により主要な用途別エネルギー消費量を把握し分析可能。運用管理組織、体制、管理方針を定めエネルギー消費量の目標値を計画可能。全熱交換器によるナイトパージを採用。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生機器や雨水利用システムを採用。免震構造や高強度材料で使用材料低減。躯体と内装の分離容易化で更新時の部材解体を極小化。発生土や製鋼スラグの地盤改良利用、杭汚泥自ら利用等リサイクル材を積極採用。	LR3 敷地外環境 各種熱源の燃焼機器不採用により大気汚染防止。中高木による地表面被覆、隣棟間距離確保による通風確保で温熱環境改善。駐車・駐輪場の確保、車両出入口の適切配置で周辺交通負荷を抑制。廃棄物量を推計し減容化。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 4.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.1
配慮事項	LED照明や高効率空調機を採用し、運用時のCO2排出量の削減を行った。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	5.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	4.0
配慮事項	みどり・ヒートアイランド対策に配慮して建物配置ならびに外構計画を行った。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		0.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	0.0
配慮事項	対象外	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	BEIm =0.43	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
	対象外 (相当)	対象外
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.42	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.42